

□th IBB Seminar

遺伝子発現を制御する化学的手法の開発

講師：永次 史 教授

東北大学 多元物質科学研究所

日時：平成 22 年 6 月 8 日（火）

16:30～18:30

会場：東京医科歯科大学 難治疾患研究所
会議室（1 階）



Abstract: ヒトゲノム解析の終了が宣言されてから、様々な疾患の原因が遺伝子レベルで解析されており、遺伝子発現制御は次世代の疾患の治療法として期待されている。特に核酸医薬は標的遺伝子に対して選択的に結合し、特定遺伝子の発現を制御できることから、非常に注目を集めている。

我々の研究室では次世代型核酸医薬の開発を目指し、従来にはない機能として、特定の標的遺伝子に対してピンポイントでアルキル化反応を誘起する人工核酸の開発を検討している。本セミナーでは最近の核酸医薬の現状及び我々の最新の結果について紹介したい。

お問い合わせ：生体材料工学研究所
メディカルケミストリー分野
鳴海(内線 8036)、玉村

